

# 大学運営に貢献する 図書館になるために

7班

海外調査研修計画を  
企画立案する



- **我々は…**

- 久路春大学 附属図書館の職員

- **久路春大学は…**

- 東京にある総合大学
- グローバル化に積極的
  - 学術コンテンツの全世界への発信に関心



- **2015年11月…**

- 次年度実施のグローバル化に関する事業の募集
- 我々図書館員としても、この波に乗りたい！



# 平成28年度 グローバル化促進 海外調査研修 実施提案

久路 春太郎  
久路春大学 附属図書館 渉外企画係



# 海外調査研修の目的と期待できる成果

- 国際的学術情報発信環境の醸成
  - リポジトリやデジタルコレクションによって積極的に保有している学術コンテンツを発信している大学の事例に学ぶ
- 国際的に通用する若手職員の育成
  - 若手職員の語学力、企画力の向上



# 派遣する職員

- 人数：2名
- 構成：
  - 図書館勤務年数が3年以上
  - 調査研究に意欲のある者
  - TOEIC 600点以上(相当)の実績

派遣者については館内で選考を実施



# インターン先と期間

【訪問国】 シンガポール

期間：2週間

訪問機関：

・シンガポール国立大学

- ・施設見学
- ・インタビュー
- ・インターンシップ
  - ・日本語資料のメタデータ作成
  - ・ワークショップの企画実施
  - ・展示の企画

シンガポール国立大学



# 研修スケジュール

1週目

- ・ 見学
- ・ インタビュー

2週目

- ・ インターン
- ・ ワークショップ企画開催

最終日

- ・ 現地報告会

帰国後

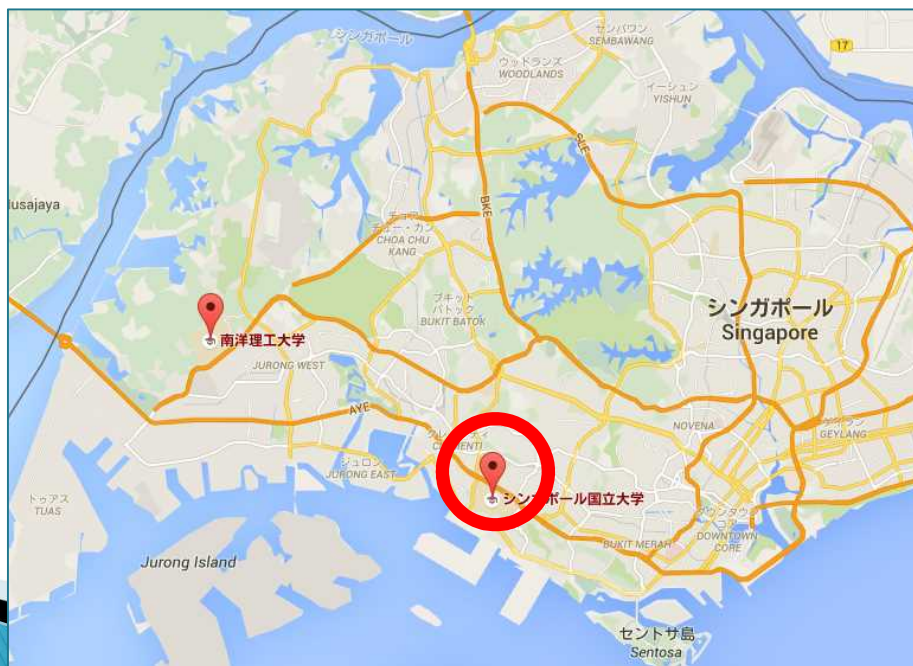
- ・ 学内報告会

その他の見学先

- ・ 南洋理工大学
- ・ シンガポール国立図書館
- ・ Yale NUS College

# 訪問先1：シンガポール国立大学①

- ・ 場所：シンガポール南西部 ケントリッジ
- ・ 学生数：約38,000人
- ・ 留学生割合：約30%
- ・ 大学ランキング：QS 15位/THE 26位
- ・ 学部構成：11学部(文系4・理系7), 3大学院





# 訪問先1：シンガポール国立大学②

- ・ 図書館：7 図書館
- ・ 蔵書：約300万冊

## 【特に調査したい項目】

- ・ 学内学術資源の電子化と公開
- ・ Scholarly Communication Committee  
– Open Accessの啓蒙や著作権に関する  
情報提供を行っている
- ・ 多様な学生への学習支援



# 経費試算

価格は円

項目	単価	個数	人数	計
航空機代	60,000		2	120,000
宿泊費	10,000	14	2	280,000
諸経費(日当、食事代など)	10,000	14	2	280,000
訪問費用(参加費、謝礼など)	100,000	1		100,000
総計				780,000



# 海外調査研修の目的と期待できる成果

- 国際的学術情報発信環境の醸成
  - シンガポール国立大学の学術情報発信のノウハウを実地で学び、久路春大学のデジタルコレクションの構築に活かす
- 国際的に通用する若手職員の育成
  - 若手職員の語学力、企画力の向上

図書館からグローバル化の第一歩を・・・

